

入善町 議会だより

9月定例議会

№ 24 号

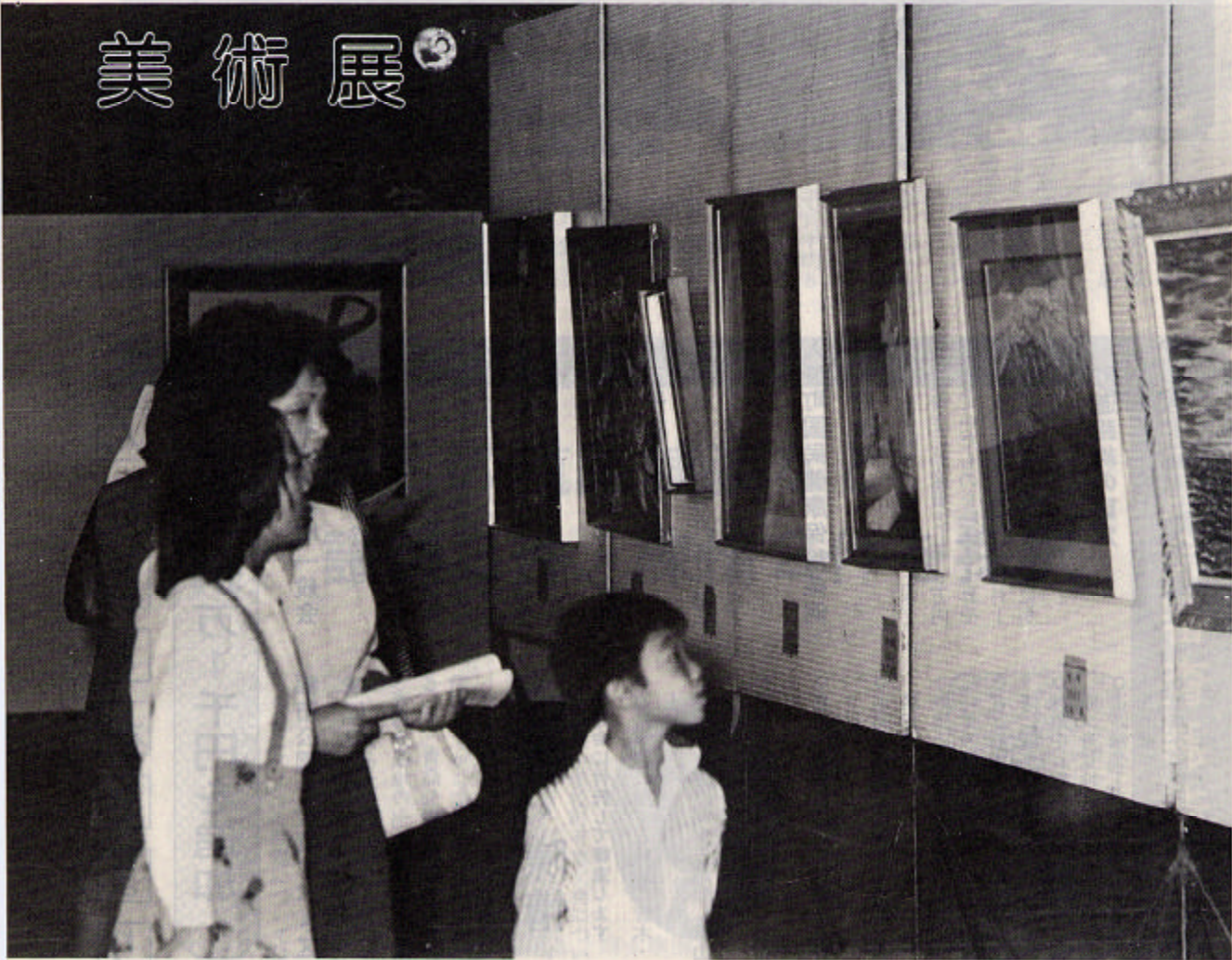
発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会

富山県下新川郡入善町入膳3,255

☎ 0765 (72) 1100

美術展



ま

7回入善町美術展は10月13日から3日間中央公民館で開催され、書、絵画、写真、工芸各部門合せて128点ものすばらしい作品が出品されました。

ページ案内

- 9月定例議会で決定したこと…………… 2ページ
- 決算特別委員会を設置…………… 3ページ
- 一般質問…………… 4ページから6ページ
- 委員会審査報告…………… 7ページ
- 18回臨時議会・寄付受入れ…………… 8ページ



横山地区に 漁村センターを建設

才17回定例議会は22日から26日までの会期で開かれ、昭和54年度一般会計予算の補正などを行った。

1億9千579万1千円を追加

こ
ん
な
こ
と
が
き
ま
り
ま
し
た

昭和54年度入善町一般会計補正予算(才2号)

漁村緊急整備事業として横山地区に漁村センターの建設、転作促進を図るための地域農業生産総合振興対策事業の導入のほか現段階までに確定した補助事業、起債事業に伴う変更が主な内容です。

入善町分譲宅地特別会計補正予算(才1号)

新青島分譲宅地造成に伴う補正で、歳入歳出補正額はそれぞれ2千6百4千円となります。

入善町国民健康保険条例の一部改正

従来被保険者が出産したとき、その世帯主に助産費として6万円支給していたものを物価の上昇や実際の支払額等を勘案し、12月1日出生児から支給額を8万円に引き上げる。

町道路線の認定

中部衛生センターから県道上飯野・入善停車場線に至る黒部川右岸の堤防上道路を町道に認定する。

都市公園を設置すべき区域について

青島分譲地の一区画に都市公園として、青島公園を設置するものです。

請願・陳情

委員会に付託して審査します

○道路舗装に関する請願(青木・上村)

○下水溝改修に関する請願(下山)

○道路の舗装について請願(目川)

○農道の舗装について請願(上野3区)

○道路改修舗装に関する請願(入糖13区)

○鉄道と交差する水路の改良についての請願(道市)

○吉原地区の人家密集地内水路改修に関する請願

○林道中谷線拡幅改良に関する請願(舟見地区)

○道路舗装工事方に関する陳情(五十里)

○黒東小学校前バス停付近県道拡幅整備について陳情

助役・収入役の選任
教育委員の任命に
同意

同意

杉原禮次郎助役・宮腰由則収入役、清田清一教育長の任期が10月8日満了するので、その後任として助役に寺林次信企画財政課長、収入役に宮腰由則現収入役を、教育委員会委員には森栄建設課長をそれぞれ選任、任命することに同意しました。

助役

寺林次信氏

収入役

宮腰由則氏

教育委員会委員

森栄氏



昭和53年度決算

単位：円

収入	収入済額	支出済額	差引	
一般会計	4,849,140,343	4,770,895,219	78,245,124	
特別会計	国民健康保険	762,866,671	753,165,618	9,701,053
	簡易水道	23,044,527	20,146,770	2,897,757
	育英奨学資金	6,158,995	6,151,037	7,958
	土地取得	20,019,414	19,742,672	276,742
	分譲宅地	12,661,326	5,646,770	7,014,556
合計	5,673,891,276	5,575,748,086	98,143,190	



決算特別委員会を設置

昭和53年度入善町歳入歳出決算認定についてが上程され、決算特別委員会に11月末日まで審査を終了するよう期限をつけて付託されました。
 決算特別委員会委員に5名の議員が選任されました。

- 委員長 五十里 洩吉 君
- 副委員長 竹内 壮太 君
- 委員 江畑 伊作 君
- 委員 小林 与三雄 君
- 委員 屋木 忠義 君

議会のうごき

8 月

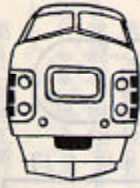
- 1日 総務委員会
- 2日 産業建設委員会
- 3日 新川三郡議長会
(宇奈月町)
- 7日 県議長会県外視察
(島根県斐川町)
- 8日 議員全員協議会
- 20日 下新川郡議長会
(朝日町)
- 27日 小杉町議会視察来庁
岐阜県穂積町議会視察
来庁

9 月

- 7日 新川広域圏議会
- 10日 東部議長会
- 12日 議会運営委員会
- 22日 議員全員協議会
- 25日 才17回議会定例会
- 26日 才17回議会定例会
- 27日 東部議長会県外視察
(長野県山ノ内町)

10 月

- 9日 決算特別委員会
- 17日 決算特別委員会
- 18日 決算特別委員会
- 20日 広島県大野町視察来庁
- 23日 才18回議会臨時会
- 24日 決算特別委員会
- 議会だより編集委員会



特急停車駅昇格の 具体的条件整備がなされているか!

町政一般質問

人家密集地の 私道の舗装を促進されたい

西尾三郎議員

地の私道の舗装を促進されたい。

町長

道路用地が私有地の場合や道路
巾が4メートル未満の場合は舗
装はしない。

純然たる私道いわゆる宅道の舗
装は全額本人負担となっている。

公共性の強い私道であれば町に
対して寄付の手續きをし町に移管
して貰う。そして一定の基準によ
ってその住民の皆さんに舗装負
担金を納入していただいた上で舗
装する。

私道の舗装に補助を出すとい
うことはやっていない。



問 入善町の道路舗装率は県下で
も極めて高い水準にある。その中
にあつて全額個人負担の宅道の舗
装もかなり進んでいるように見受
けられる。

私道の舗装、舗装負担金に補助
を出す等の基準を設け、人家密集

田中海岸に離岸堤の 設置を急げ!!

五十里 浅吉議員

害鳥駆除の推進について聞きた
い。

町長

土鳩については県に対し今年2
回捕殺を要請し駆除した。

狩猟鳥獣の猟期は11月15日から
2月15日までであり、それ以外の
期間中は猟知事もしくは環境庁の
特別許可を受け、有害鳥獣駆除隊
員による捕獲が必要である。

現在本町の猟友会員は74名であ

るが、有害鳥獣駆除隊は隊員12名
の外に通年捕獲の許可を所有して
いる管理員1名によって編成され
ており町長から要請があれば出動
する体制になっている。

駆除隊員の皆さんはそれぞれ職
業を持っておられるし、しかも奉
仕活動であるのでたび重なる出動
要請にも限度があると思う。

カスミ網による捕獲は禁止され
ており、隊員各位の御協力をお願
いし努めて出動回数を増す方向で
相談して参りたい。

問 海岸沿線の農作物の塩害は離
岸堤の設置されたところでは多少
緩和されている。

離岸堤の設置と農作物の塩害対
策について伺いたい。

町長

昭和52年から3か年連続で建設



高波を越える防壁

省の離岸堤が五十里海岸へ入れら
れている。

護岸の前に消波工、沖には離岸
堤、護岸の後は25メートルの
副堤、5メートルの道路更に背後
地30メートルは防潮林というのが
塩害防止のための理想とされてい
る。

護岸の背後地60メートルという
のは米の作付には極めて不適当な
ところであると言わざるを得ない。

しかし下新川海岸の保全事業に
9億円来ているうち入善海岸に約
8億円が使われている。

五十里海岸にはじょうべのまの
遺跡があるので文化庁の調査が必
要なため副堤の建設には手間どっ
ているが、早期に完成するよう働
きかける。

入善中学校増改築工事の指導監督は厳重に

大林政雄 議員



問 入善中学校の増改築工事は、世界的経済情勢の不安定な中での工事であり、建築資材の高騰には目を覆うばかりの状態で見守るべきを得ない。

大手業者だけに間違いはないと思いが、設計に基づいた適正な工事が実施されるよう厳重な指導、監督が必要である。

今日まで業者より資材の値上りによる設計変更等の申し出がなかったが、今後これらの申し出があった場合にはどのように対応されるのか伺いたい。また過去にこのような事例があったならば聞きたい。

町長

入善中学校の増改築工事については二指適のとおり考慮している。資材はやや高騰さみであるが、業者から見直しをして貰いたいというような話は一度も来ていない。

し、米ないものと確信している。万一契約を変更してくれといったようなことを言われて来られたらお断りしたいと思っている。

工場の監督指導に当たっては、設計事務所はほとんど常駐しているし、役場からは建築技師を現地へ派遣している。

また関係課も適宜現地へ出向いて状況調査と打ち合せを行っている。問 新愛本発電所並びに朝日発電所の建設は黒部川流域市町には固定資産税の歳入が見込まれるわけでも多少のメリットのあることにはなづけるが、地下水の低下、冷水害、流砂、自然破壊等といったデメリットも当然予想される。しかし国内の行き詰った電力事情は無視出来ないところであり、地域開発等の総合判断の上で立った社会的要求に迫られていることも事実である。

このようなことから発電計画に伴う関係市町との特異的な立場にある入善町の将来を考慮し、建設計画を綿密に慎重に審議し、悔いを後世に残さないよう特別委員会等の諮問機関を設置し各種団体よりの意見、要望を充分反映させる

べきであると考えが所見を承りたい。

町長

特別委員会等の諮問機関とは別に黒部川土地改良連合の中に水利特別委員会というものを設けて調査している。

この水利特別委員会には非常に権威のある方々が入っておられるので、水の論争については関電や県にも一応の対応は出来るものと考えている。

発電所の建設には地下水の低下、

潤いのある学校建設の促進について

本 田 幸 光 議員

町長

問 幸町、新上野、青島と分譲宅地の造成が進められ今年度も新青島分譲地が完成、交通の便が良い等大変好評を博している。

これからのような分譲宅地を求めの声が高く、住民の要望に応え分譲宅地の造成、更に町営住宅の建設、雇用促進住宅の誘致を積極的に進められた、



冷水害やピーク発電による水量調整の問題が予想され、特別委員会等の諮問機関をもたなくてはならないというようになってくれば、これはだわらないが今のところ考えてはいないし、議会の皆さんと相談申し上げていけばよいのではないかと考えている。

黒部川の主導権は入善町にあるということをしつかり心に止めながら悔いのない処置を取ってまいりたい。

分譲宅地の造成には引き続き農業振興地域から除外された市街地の周辺で最大限努力している。減反といつた米に対する国の措置がとられている以上は農業振興法の見直しをやるべきだといわれている。

農業振興法の見直しが行われると宅地を造成する範囲が極めて大きくなる。

持家を希望される宅地造成については農業振興法の見直しとにらみ合せて宅地造成を進めて行きたい。

新青島分譲宅地の申し込みが多く半数以上の方の希望がかなえら

れないのでその方々を直ぐ受け入れるための作業を、困難であるが急がなければならぬ。

雇用促進住宅についても日本電気の増設に伴う雇用の増大や新工業の増設などを考えるとあと2棟必要である。

問 近代的設備を整えた西中学校黒東小学校が立派に完成されたが、教材、教具の充実はもちろんこれからは校舎の建設に芸術性もたせた潤いのある学校建設を進めるべきであると考え。

来年度から文部省は芸術性を盛り込んだ学校建築に1パーセントの上乗せ補助を実施すると聞いている。

潤いのある学校建設の促進について町長の考えを聞きたい。

町長

学校建築は先見と熟慮と非常に慎重な判断に基づいて作らなければならぬ。

今後の学校建築様式については従来の規格化された学校の建築様式から大きく脱皮すべきである。

文部省も建築費の中に芸術的な構造を認めるようになってきた。今後の設計にはこの点も活かしたい。

外観も大切であり施設設備を整え中味の充実することこそ最も大切であると思われるし、関係者の意見を聞きながら文化の香り高い学校建築になるよう工夫をこらしたい。

町営住宅の環境整備 を図りたい

九里 郁子 議員



問 青島分譲地45区画に対し申し込みが倍以上あつたと聞いている。当然分譲決定は公平・公正でなければならぬが、申し込み者の半数以上は希望がかなえられないわけだからその方々が納得のいく決定でなければならぬ。

問 適用条件を審査し、該当者多数の場合は抽せんして決定することにしているが次の諸点について伺いたい。
先ずはじめに町外からの希望は何件あつたか。町内町外の希望者は平等に考えるのかどうか。
第2に適用条件を審査するのはどこか。該当者多数の場合の抽せんはどのような方法で行うのか。
第3は契約後2か年以内に住宅を建設し、居住するという条件を履行しない場合どのような処置をとるのか。
第4に新和工業社員は優先する

とのことだがそれは審査の対象から除外するのだろうか。また希望の区画が重複する場合も社員が優先するのだろうか。
次に新上野と幸町について既に全部住宅が建設され居住してないければならぬはずが空地になっているところがある。当然契約を解約すべきだと考えるが今後どのような処置をされるのか。
町長 45区画に対して98世帯の申し込みがあり町外からの申し込みが30世帯あつた。
町内町外の希望者は平等に考えるべきであると考えますが、決定は公平・公正をもって庁議で決定する。
適用条件の審査及び抽せんは庁議で行う。2か年以内で住宅を建設するという条件を履行しない場合は当然取り消しをするべきだが今入院しているので来年まで待つてくれということが文書で出ているので待つている。
幸町で2か所、上野に1か所あるのはこのような事情もあるのもう1年待ちたいと思つている。
新和工業については用地交渉の際の約束に従つて、当初10世帯優

先するところをお願いして5世帯にして貰つた。

問 町営住宅の側溝や下水溝の改善等環境整備を図りたい。

また冬にはこれらの住宅内では雪の捨て場がなく特に舟見は道路よりずっと低い位置にあるので玄関のドアが開かないということさえある。
年次計画で消雪装置の設置などを考えて行かなければならないと思つがどうか。

町長 消雪装置は、住宅内の宅道のような所よりもっと公共性の強い交通量の多い所から順次やって行かなければならない。
環境整備については町営住宅の代表者の方と定期的に意見交換をしており、話し合いをしながら整備を進めてまいりたい。

建設課長 上原町営住宅については、住宅内の側溝にいつもきれいな水を流したいということで農業用水路から水を取っている。
大きな雨が降るとこれがあふれるわけで、大きな雨が降つても一定量の水しか入らないという装置に替えたい。
側溝や外壁の改修に合わせ仕事を進めたい。

他の町営住宅の場合も農業用水路から取水することになると思つが、土地改良区や関係の水利権者との話し合いもあるのだから出来るものから改良していきたい。

町における臨時職員には 正職員となる保障があるのか

福沢 万次 議員

問 北陸新幹線の建設は国鉄のほう大な赤字を抱えての再建対策上簡単には着工されないのではないかと予測している。
今国鉄では上越新幹線の開業に合わせ昭和55年10月ダイヤ改正の作成作業にとりかかっているようだが、この機会に入善駅に特急を停車させ、首都圏との交通の便を図り新川プロックの主導的地位を確保することこそ入善町を大きく発展させる要素だと思つ。

町長 特急停車駅昇格の具体的条件整備がなされているかどうか伺いたい。

町長 上越新幹線が開業する昭和55年10月ダイヤ改正が行われ、北陸線は長岡駅を中心となるだろう。
特急の停車駅を、糸魚川、入善、魚津、富山とすれば距離的にも乗降人員の実績からみても当然である。



問 このことを強く衆参両運轉委員や国鉄本社、金沢管理局へ強くお願いしてあり感触がある。
今後も議員の皆様と共に働きかけて行く。
アラットホームのかさ上げ延長、貨物置場跡地の整備、駅前整備等には意を用いている。
また今年度計画していた自転車置場の増設は、国鉄宿舎の改築などのからみもあり来年度に持ち越すことにした。

町長 運動公園の野球場、テニスコートに夜間照明が設置されるなど、公園の整備が着々と進んでいるが、これらの公共施設は事前に申し込みをしておかないと随時手軽に使用出来ないという不便さがある。
年々増加するスポーツ人口に対応する体育施設が不足しており、黒部川河川敷を利用したグラウンド、或いはスポーツを楽しめる広場を持った農村公園、学校グラウンドに照明設備をするなど、安易に使用出来る社会体育施設の充実を図りたい。

町長 また雨が降ると2、3日使用出来ない黒東小学校グラウンドの対策について伺いたい。

住民の健康維持増進につながるスポーツの振興には力を入れていく。

統合による旧校舎の跡地は軽スポーツが出来る公園として整備し、町全域の社会体育施設配置計画を勘案して日常生活圏内の地域運動広場も計画的に整備したいと考えている。

また学校体育施設にも年次夜間照明施設を整えて社会体育の振興に当たりたい。

黒東小学校グラウンドについては1年見たあとで対処する。

問 私達が県民の健康と福祉を守る行政の実態調査をしたが、入善町における臨時職員が他市町に比べて多いという結果が出ている。特に保育所関係で保母、調理員の臨時職員が多い。

正職員と同じ職務内容と責任を持ちながら最低に近い賃金でしかも手当や昇給の適用もない状況である。これらの臨時職員は正職員

となる保障があるのかどうか。

また保母に関しては、厚生省の基準より不足する保母数が10名となっており、当然正規の職員に採用されてもよいのではないかと思われるがどうか。

11月より週休2日制の試行に踏み切ると聞いているが、用務員が1人となつてゐる箇所の要員、手当がどうなつてゐるのか聞きたい。

町長 保育所の臨時職員には正規の職員と同じ職務と責任を持たせている。

通年雇用ということでは月平均8万1千円の賃金を支払つてゐるし、身分の安定や待遇は充分考へてゐる。

賃金についても大体企業や商店並の給与ということになり安いとは言ひ切れない。

保母、調理師にも定数があり、定年退職していかれた後に順序に従つて正規の職員に上げている。



夜間照明設備が完成

委員会審査報告

青木地区の道路舗装など
請願3件、陳情2件を採択

総務

8月1日

委員長 杉沢長作



旧新屋小学校町有地交換についての陳情は全員一致により採択すべきものと決定した。

審査の過程では、庁議で処置を決定してから委員会に提出されたということ、又地区民の総意であるということなどで総てが決定されることになること行政上好ましくないということなど問題として提起された。

今後このような問題については慎重に取り扱っていただきたい。

産業建設

8月2日

委員長 池原金吾志



付託された請願3件、陳情2件は採択すべきものと決定した。

青木地区の道路舗装についての請願、舟見の林道谷江線拡幅改良についての請願は地元住民の要望が強く、生活及び産業の重要な路線であるので早急に改良舗装されたい。

異常気象に伴う雪あられ並びに強風災害に関する助成についての請願は、水田利用再編対策という大きな課題を抱え転作を考へる場合には球根をもつと伸ばさなければならぬと考へる。

思いもかけない災害により意気消沈しておられる生産者を力づけるため援助するべきである。

県営土地改良総合整備事業小摺戸地区の新規採択についての陳情は充分意をつくすべきである。

甲子園出場記念にと優勝カップや鯉を寄付

寄付申出 受付年月日	寄付金品	寄付目的	寄 付 者	
			住 所	氏 名
54. 6. 29	扇風機 (¥ 35,000)	1台 黒東小学校へ	入善町新屋 2333	藤 田 法 光
54. 7. 10	金属製ベンチ 4人用 (¥ 100,000)	5基 入善西公園へ	入善町上野 11553の3	小 林 淳 介
54. 7. 12	校歌掲額 (¥ 150,000)	一式 黒東小学校へ	入善町福島 336	福 沢 早 雲
54. 7. 12	黒東小学校体育館ステージ一文字 用校章 (¥ 100,000)	黒東小学校へ	富山市新国町 159-4	小 堀 義 夫
54. 7. 12	水生飼育観察コンクリート水槽 (¥ 80,000)	1基 黒東小学校へ	入善町基ノ木 86	鍋 島 金 太 郎
54. 7. 13	保健室用三ツ折ベット (¥ 50,000)	1台 黒東小学校へ	入善町新屋 250	新 田 孝 義
54. 7. 14	通風式テント2号型(2間×3間) (¥ 160,000)	1組 入善西中学校へ	入善町上野 4656の1	高 田 茂
54. 7. 16	黒東小学校標旗 (¥ 35,800)	1 黒東小学校へ		北陸建設株式会社 社長 杉 沢 正 雄
54. 7. 17	プール用ベンチ (¥ 100,000)	5脚 入善西中学校へ		入善町西衣料組合 会長 本 田 善 保
54. 7. 17	プール用ベンチ (¥ 100,000)	5脚 入善西中学校へ		入善町自転車組合 会長 若 島 栄 順
54. 7. 20	給食用食器 (¥ 36,000)	180個 舟見小学校へ	入善町舟見 706	羽 黒 稔
54. 7. 24	カラーテレビ (18型) (¥ 286,000)	2台 芦崎保育所へ		本田建設株式会社 代表取締役 本 田 清 治
54. 8. 6	万国旗 560枚、網 600m (¥ 110,000)	黒東小学校へ		黒東小学校下衣料組合 組合長 寺 林 正 吉
54. 8. 7	庁用事務備品 (¥ 300,000)	入善町役場へ		富山日本電気株式会社
54. 8. 11	図書 (万葉集古義13巻など) 500冊	入善町立図書館へ	入善町入膳 5445	米 沢 久
54. 8. 20	鯉 58尾 (¥ 30,000)	甲子園出場記念 として 入善町へ	入善町小瀬戸237 入善町小瀬戸202	青 塚 誠 也 杉 本 真 也
54. 8. 20	優勝カップ (¥ 30,000)	6個 甲子園出場記念 として 入善中学校へ	入善町鶴山 176	長 島 孝 志
54. 9. 7	電子複写機 (¥ 400,000)	1台 鶴山小学校へ	入善町霞又80 入善町小杉85	林 健 市 保 金 山
54. 9. 7	大太鼓、中太鼓、小太鼓 (大1個・中2個・小3個) (¥ 53,300)	西部保育所へ		昭和14年度母の会 会長 大野ひろこ
54. 9. 13	三ツ折ベット (¥ 50,000)	1台 黒東小学校へ	入善町一宿 716	谷 川 さ つ い
54. 9. 14	車椅子 外1 (¥ 100,000)	1組 わたさき老人奉 仕入浴用具として 入善町へ	入善町入膳 5495	原 原 久 松

寄付者の御厚志に対し深甚なる謝意を表します。

臨時議会

オ18回臨時議会は10月23日開催され、入善町漁村セン
ターの工事契約などを議決、昭和54年コシヒカリ栽培実
害田農家へ助成金交付の請願を採択、その他の請願、陳
情は常任委員会に付託し審議することになりました。

入善町漁村センター工事契約
10月16日に5社を指名し、現場
説明を行い12日に入札を執行した
ところ、5千95万円が広川建設工
業株式会社で落札しました。
工期は昭和55年3月20日です。
入善漁港改修工事請負契約
10月16日に5社を指名して、現
場説明を行い12日に入札を執行し
たところ、オ1工区5千220万円、
株式会社飯作組にオ2工区は5千
45万円が本田建設株式会社でそれ

ぞれ落札した。
工期は昭和55年3月20日です。
○道路舗装について請願(小杉地
区)(委員会付託)
○五郎八地区排水路の改修に関す
る請願(委員会付託)
○昭和54年コシヒカリ栽培実害田
農家へ助成金交付の請願(採択)
○特別養護老人ホーム舟見寿楽苑
の建設並びに増設に伴う補助金
交付について陳情(委員会付託)

秋の日は

釣瓶落とし

秋になると日が短くなり晩秋の
夕暮れ時には井戸の中につるべを
落とすように日が沈むというこ
と。夜の長さがしみじみ思われ
る頃です。

今定例会の主な案件は一般会計
補正予算、昭和53年度決算認定な
どですが、補正予算の中で横山地
区に入善町漁村センターを建設す
ることになり、オ18回臨時議会で
この工事契約を議決しました。

漁村センターは鉄筋コンクリー
ト2階建、延面積約60平方メー
ルです。

各種会合に利用できる研修室や
講座室、調理室、集客室、談話室、
浴室などがあります。

漁村地区のコミュニティ活動の
場として活用を図るもので、55年
3月完成の予定です。

入善町議会だより

編集委員会

